重点改革項目Ⅰ　時代の変化に即応した行政経営品質の向上

取組項目（中項目）	1　政策課題の高度化への対応	No.	1
具体的な取組項目（小項目）	1　新潟市総合計画（にいがた未来ビジョン）第1次実施計画など主要施策の戦略的実施	担当課	政策調整課
改革実施項目名称（細項目）	第1次実施計画の戦略的実施		
現状と課題 （これまでの取組み）	新たな総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現するため、平成28年度を目標年度とした2カ年の第1次実施計画を策定、選択と集中を図りながら「安心政令市にいがた」実現に向けた各施策を重点実施する。		
事業の目標・目的 （考えられる効果）	≪計画期間の目標≫ 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 ≪事業の最終目標≫ 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。		
取組の内容	・計画の取組項目実現に向け「選択と集中」すべき項目を明らかにし、庁内における情報共有を図ることにより事業の重点化を図る。 ・さらに指標等によりPDCAサイクルを機能させ、適宜計画のローリング作業を行いブラッシュアップを図ることで実効性を高めていく。		

		現状 （平成26年度）	平成27年度		平成28年度		中間目標／ 29年度以降
			計画	実績	計画	実績	
改革実施概要	取組工程 （具体的な内容）	平成28年度を目標年度とした第1次実施計画の策定	選択と集中による計画の戦略的実施	・実施計画に基づく取組みの戦略的実施	・計画の戦略的実施 ・平成30年度を目標年次とする第2次実施計画の策定	・第1次実施計画に基づく取組みの推進 ・第2次実施計画（H29・30年度）の策定	引き続き、選択と集中による計画の戦略的実施
指標							

進捗管理	（各年度10月に実施）		平成27年度		平成28年度		
	取組の状況	上半期 （4～9月）	・進行管理の実施	予定通り進捗	・進行管理の実施 ・進捗状況を議会報告	予定通り進捗	※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。

年度評価	（年度終了後に実施）	平成27年度		平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価	進行管理を行うとともに、次年度の計画推進事業を決定し、各取組みの着実な推進を図った。	B	進行管理を行い、次年度の計画推進事業を決定するなど着実な推進を図るとともに、第2次実施計画の策定につなげた。	B
	課題、今後の方針、改善事項など	限られた資源の「選択と集中」を図りながら、計画の着実な推進を図っていく必要がある。		重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りながら、計画を着実に推進していく必要がある。	

計画期間の中間評価	（平成29年度に実施）	中間評価		平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 （指標の適正性等）	第1次実施計画の進行管理を行うとともに、次年度の計画推進事業を決定するなど、着実な推進を図った。さらに、第1次実施計画の進捗状況を踏まえ、平成29年度からの第2次実施計画を策定した。	B	より重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りながら、計画を着実に推進していく。
	課題、今後の方針、改善事項など	総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現するため、重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りながら、計画を着実に推進していく必要がある。		

重点改革項目Ⅰ　時代の変化に即応した行政経営品質の向上

取組項目（中項目）	1　政策課題の高度化への対応	No.	1
具体的な取組項目（小項目）	1　新潟市総合計画（にいがた未来ビジョン）第1次実施計画など主要施策の戦略的実施	担当課	政策調整課
改革実施項目名称（細項目）	第1次実施計画の戦略的実施		
現状と課題 （これまでの取組み）	新たな総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現するため、平成28年度を目標年度とした2カ年の第1次実施計画を策定、選択と集中を図りながら「安心政令市にいがた」実現に向けた各施策を重点実施する。		
事業の目標・目的 （考えられる効果）	≪計画期間の目標≫ 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 ≪事業の最終目標≫ 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。		
取組の内容	・計画の取組項目実現に向け「選択と集中」すべき項目を明らかにし、庁内における情報共有を図ることにより事業の重点化を図る。 ・さらに指標等によりPDCAサイクルを機能させ、適宜計画のローリング作業を行いブラッシュアップを図ることで実効性を高めていく。		

		現状 （平成26年度）	平成29年度		平成30年度		最終目標／ 31年度以降
			計画	実績	計画	実績	
改革実施概要	取組工程 （具体的な内容）	平成28年度を目標年度とした第1次実施計画の策定	選択と集中による計画の戦略的実施	・実施計画に基づく取組みの戦略的実施	・計画の戦略的実施 ・2020年度を目標年次とする第3次実施計画の策定	・第2次実施計画に基づく取組みの推進 ・第3次実施計画（2019・2020年度）の策定	引き続き、選択と集中による計画の戦略的実施を行う
指標							

進捗管理	（各年度10月に実施）		平成29年度		平成30年度	
	取組の状況	上半期 （4～9月）	・進行管理の実施 ・進捗状況を議会報告	予定通り進捗	・進行管理の実施 ・進捗状況を議会報告	予定通り進捗

年度評価	（年度終了後に実施）	平成29年度		平成30年度	
	取組工程、指標に対する評価	進行管理を行うとともに、次年度の計画推進事業を決定し、各取組みの着実な推進を図った。	B	進行管理を行い、次年度の計画推進事業を決定するなど着実な推進を図るとともに第3次実施計画の策定につなげた。	B
	課題、今後の方針、改善事項など	重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りながら、計画を着実に推進していく必要がある。		重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りながら、計画を着実に推進していく必要がある。	

計画期間の評価		計画期間の評価		平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 （指標の適正性等）	実施計画の進行管理を行うとともに、当該年度の事業内容や次年度の方向性を踏まえ、計画推進事業を決定するなど、着実な推進を図った。さらに、平成29年度からの第2次実施計画及び平成31年度からの第3次実施計画を策定した。	B	限られた経営資源のなかで、重点的に取り組む分野の選択と集中を図りながら、計画を着実に推進していく。
	課題、今後の方針、改善事項など	総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現するため、重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りながら、計画を着実に推進していく必要がある。		